

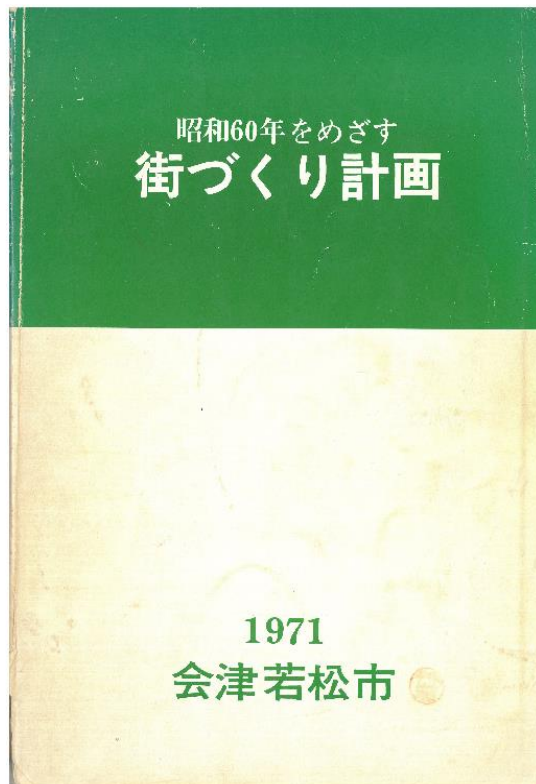


新たな総合計画の 策定に向けた取組について

令和8年2月15日

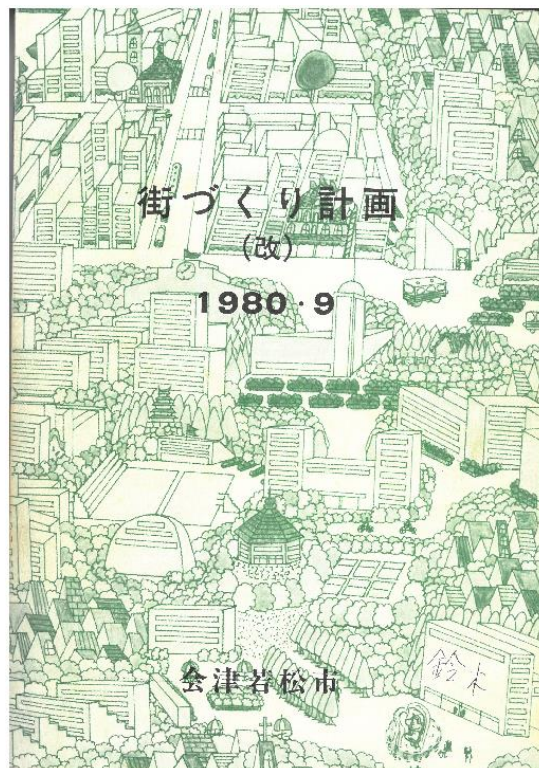
会津若松市長 室井 照平

これまでの総合計画（昭和46年度～平成7年度）



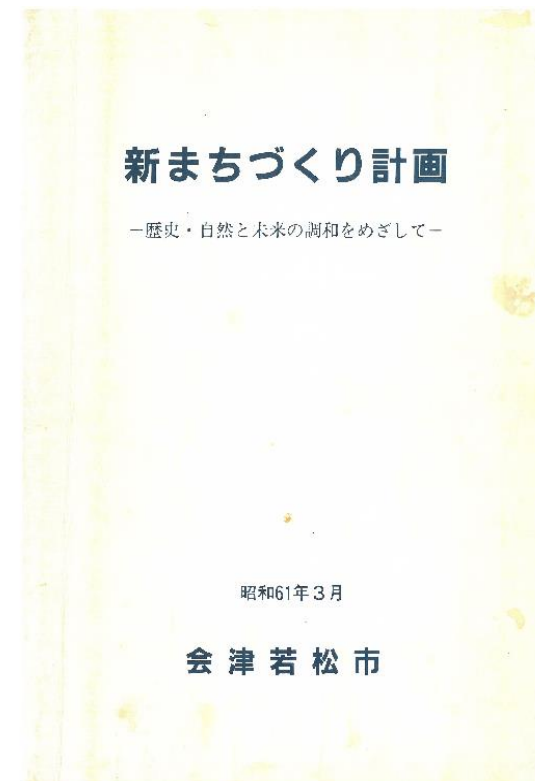
「昭和60年を目指す街づくり計画」（1971年）

基本目標「あかるく住みよい会津若松市」
（計画期間：1971年度～1985年度）



「街づくり計画（改）」（1980年）

基本目標「明るく住みよい会津若松市」
（計画期間：1980年度～1985年度）



「新まちづくり計画」（1986年）

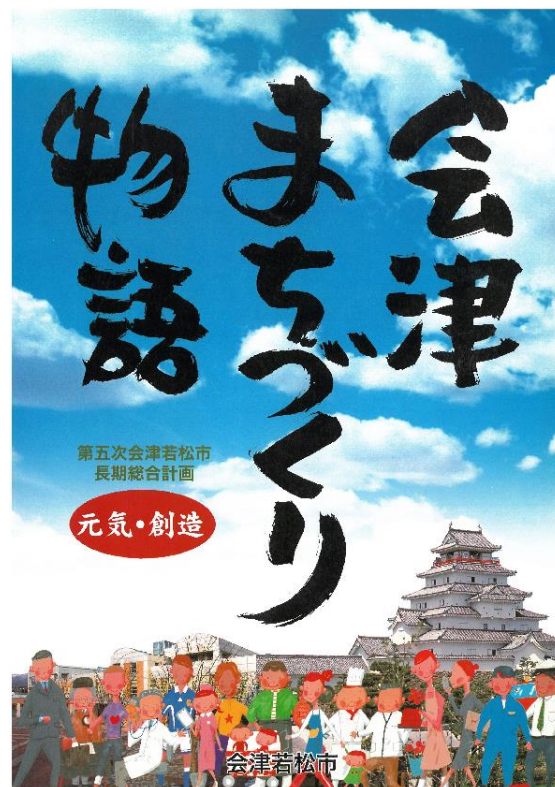
基本目標「歴史・自然と未来の調和」
（計画期間：1986年度～1995年度）

これまでの総合計画（平成6年度～平成28年度）



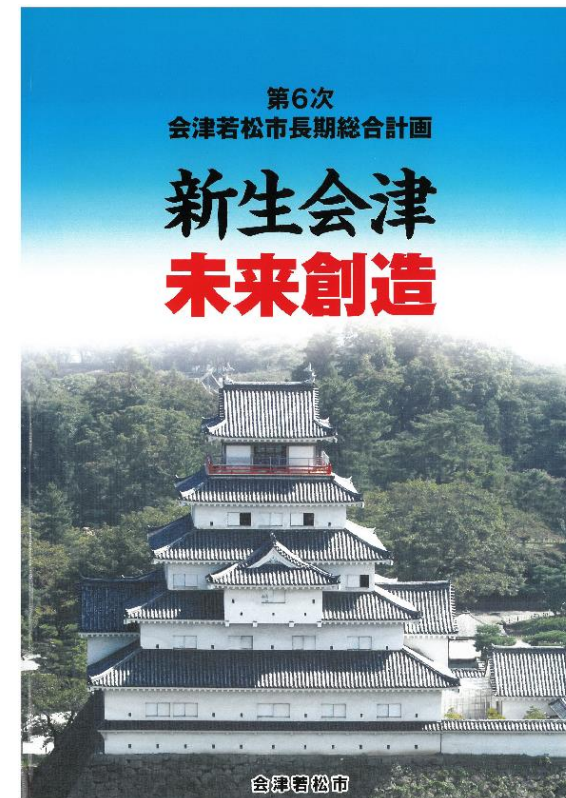
「会津若松市長期総合計画 まちづくり21」
(1994年)

基本目標「人が育み 人にやさしい
歴史・自然がいきづく国際都市」
(計画期間：1994年度～2003年度)



「第5次会津若松市長期総合計画
会津まちづくり物語」(2002年)

基本目標「会津ブランドをいかした
元気なまちづくり」
(計画期間：2002年度～2011年度)



「第6次会津若松市長期総合計画
新生会津未来創造」(2007年)

基本目標「ともに育む 会津ブランド
をいかした活力あるまち」
(計画期間：2007年度～2016年度)

第7次総合計画（平成29年度～令和8年度）



基本構想

まちづくりのビジョン

ともに歩み、ともに創る「温故創しん」会津若松

まちづくりのコンセプト

テーマ1 ひとが輝くまちへ

テーマ2 ともに創るまちへ

テーマ3 つなぎ続くまちへ

視点1 スマートシティ会津若松

視点2 しごとづくり

視点3 公共施設、行政サービスの最適化

（意味）

市民参画と協働により、地域の資源を活かして、
新しい会津若松市を創造

新たな総合計画策定に向けた4つの視点

人口規模の変化に
対応できる
持続可能なまちづくり

市民協働により
地域共生社会を
実現するまちづくり

環境負荷の少ない
まちづくり

郷土愛を育む
まちづくり

「スマートシティ会津若松の取組」を
市民のツールとして定着

「キックオフ講演会・トークセッション」の開催

新たな総合計画の策定に着手するに当たり、本市の状況とこれからの地方都市が歩いていくべき方向性などについて市民の皆様と考え、意識の共有を図ることを目的に開催しました。



日本総合研究所 主席研究員
藻谷浩介氏による基調講演



トークセッション（五十嵐えり氏、石川達也氏、
馬場由紀子氏、盛島芽生氏）

「公共政策フォーラム2024in会津若松」の開催

「外部の若者」視点からの意見等を聴取する機会として、地方都市における若者の定着をテーマに、日本公共政策学会とともに全国の大学生（12大学13チーム）による政策提言コンペを開催しました。



閉会式（受賞チームとの記念撮影）

賞	論文名（受賞チーム）
日本公共政策学会賞 （最優秀賞）	Yori-Aizu～会津漆器から始まるクリエイティブ空間～（法政大学 廣瀬・土山ゼミナール）
会津若松市長賞	「Unity」で描く未来共創都市・会津若松（日本大学 中川雅之ゼミナール）
会津若松市議会議長賞	会津大学における地域内進学と地域内就職の増加（立命館大学 森道哉ゼミナール）
会津若松市教育長賞	ファイアキッズハウス事業による地域防災力の強化、若者の定住促進（関西大学 永田ゼミナール）
会津若松商工会議所会頭賞	あかべこ会津にあいばっせ～アプリでめぐる会津若松市～（愛知学院大学 小林ゼミナール）
会津青年会議所理事長賞	若者みんなでつくりだす～会津若松創生コンペによる継続的地域活性化施策～（専修大学 石川ゼミ）

各種アンケート調査の実施

各種ワークショップ等における基礎資料として活用するため、市民や事業所、小中学生など多様な主体を対象とした各種アンケート調査を実施しました。

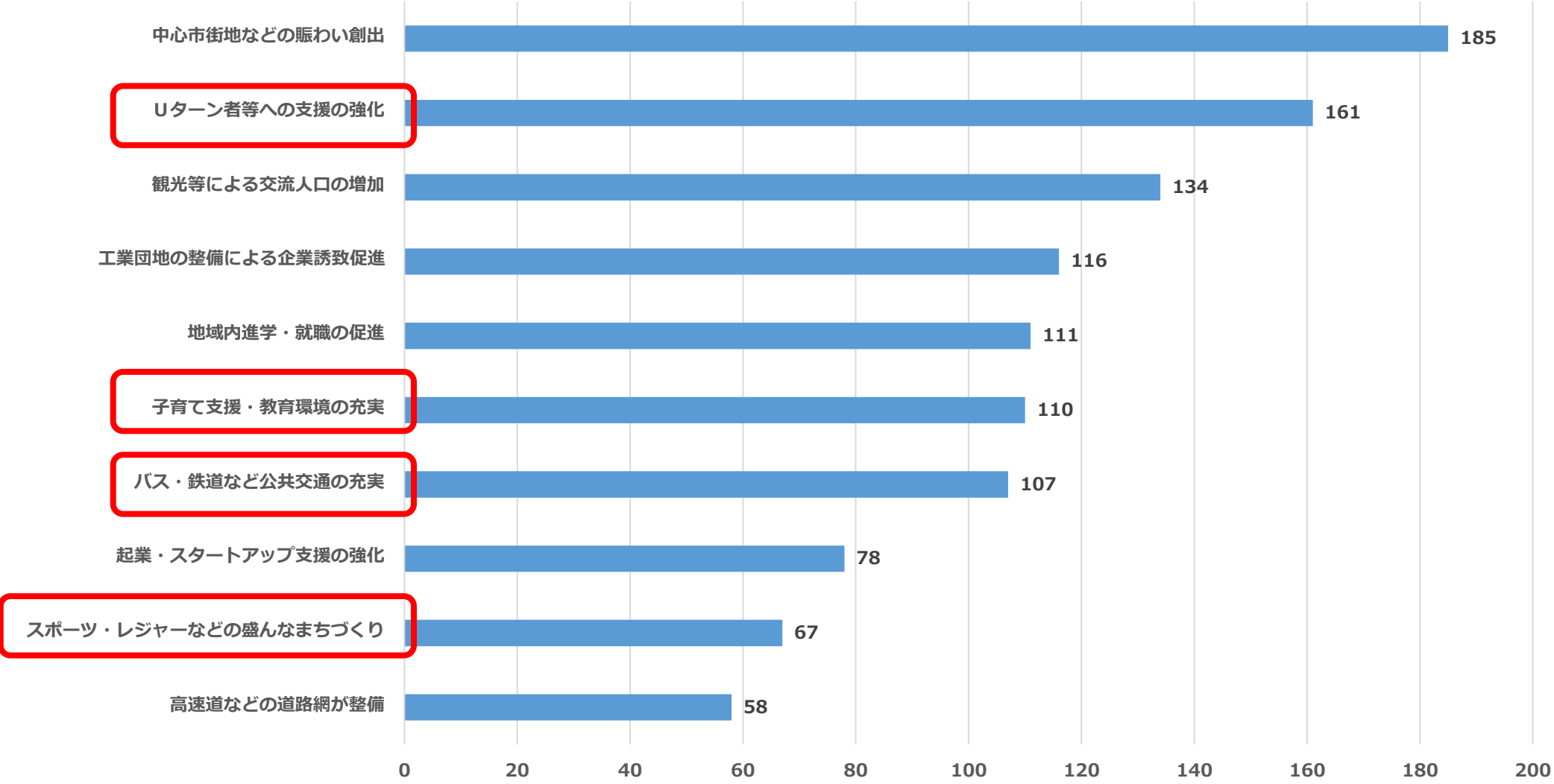
	市民意識調査	事業所アンケート調査	小・中学生まちづくり アンケート調査
調査対象	満18歳以上の市民4,000人	市内に本社・支社・営業所等を置く事業所1,500社	市内の小中学校及び義務教育学校に通学する小学5・6年生、中学1・2年生約3,800人
抽出方法	無作為抽出	会津若松商工会議所及びあいづ商工会会員から無作為抽出	全数
調査期間	令和6年11月28日～12月27日	令和6年11月28日～12月27日	令和6年11月28日～12月20日
調査方法	郵送法（郵送配付、回収はWEB併用）	郵送法（郵送配付、回収はWEB併用）	直接配付（学校を通じた配付、回収はWEB併用）
回答率	37.8%（回答数1,512）	37.7%（回答数565）	約67.8%（回答数2,578）

市民意識調査の結果から（施策への満足度・今後の重要度）

		施策への満足度	
		高	低
今後の重要度	高	○地域による子ども育成 ○食料・農業・農村、中小企業、観光 ○健康・医療、高齢者福祉、障がい者福祉、低炭素・循環型社会 ○生活・安全、地域防災、治水、上下水道	○子ども・子育て、学校教育、教育環境 ○企業立地・産業創出、雇用・労働環境、中心市街地・商業地域 ○地域福祉、自然環境・生活環境 ○雪対策、公共交通、住宅・住環境 ○まちの拠点
	低	○生涯学習、スポーツ、歴史・文化、社会参画 ○ユニバーサルデザイン、公園・緑地 ○景観 ○地域自治・コミュニティ、交流・移住、大学等との連携、行政運営	○男女共同参画 ○森林・林業 ○都市づくり、道路、情報通信技術 ○公共施設、財政基盤

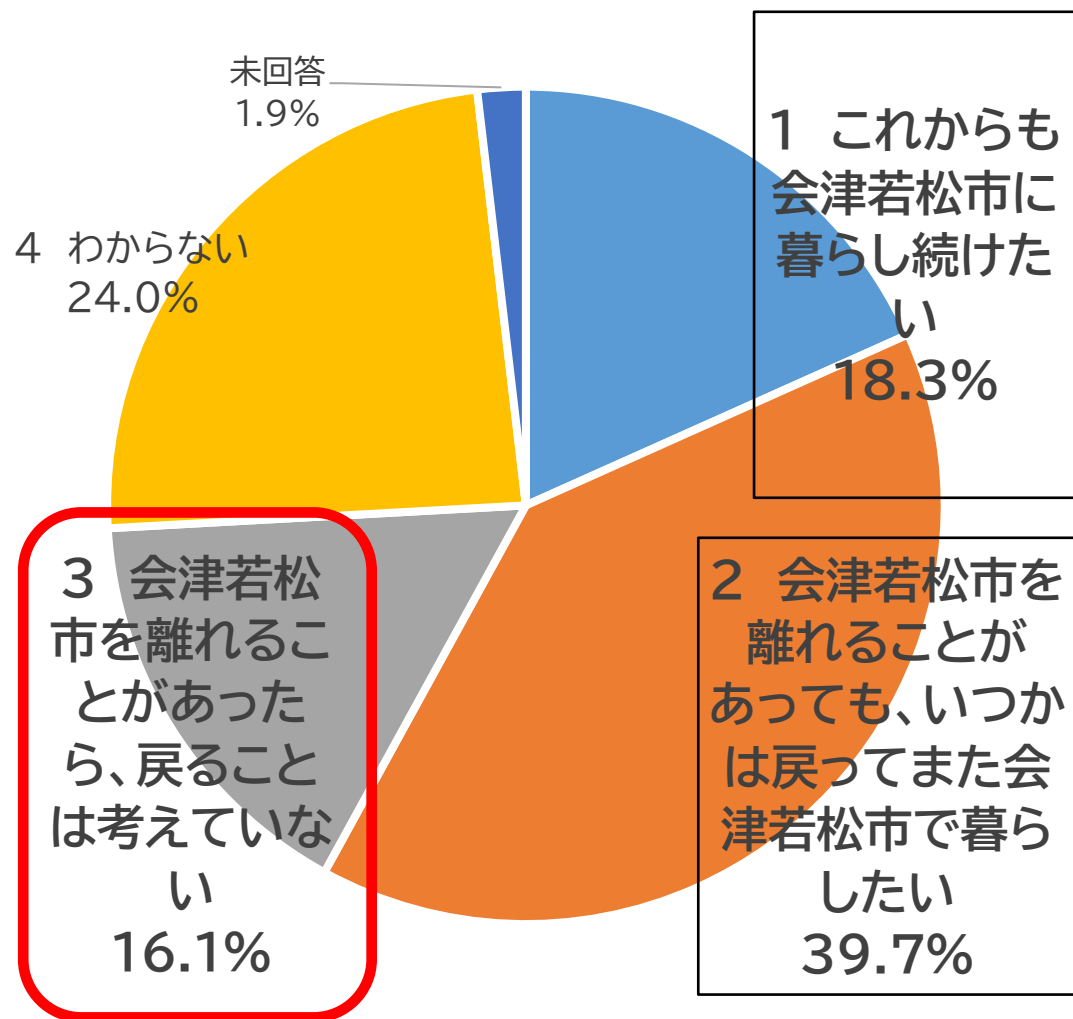
※表中の高低は全体の平均値との比較

事業所アンケート調査の結果から（経済成長に必要な施策）

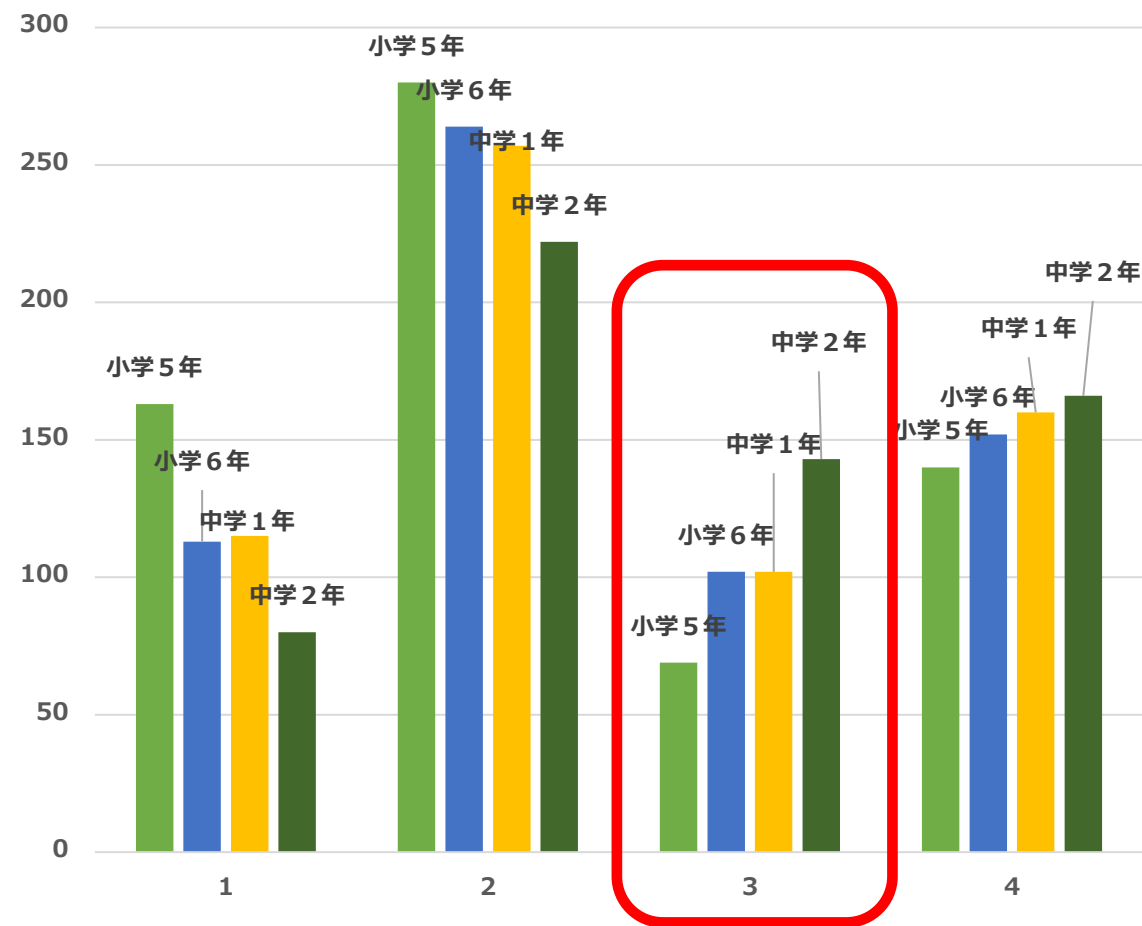


※回答が多い順に抜粋

小・中学生まちづくりアンケート調査の結果から (これからも会津若松市に暮らし続けたいですか)



割合（回答者全体）



回答数（学年ごと）

「新たな総合計画策定市民会議」の開催

長期的な展望のもとで、本市が目指すべき将来の姿などについて市民等から意見等を聴取するためのワークショップを開催しました（委員36名）。



回	月日	テーマ・内容等
1	7月9日	会議趣旨・全体スケジュール説明、委員紹介
2	7月30日	自身が知る会津若松の特性の共有
3	8月20日	ワールドカフェ方式による市職員との対話
4	10月1日	会津若松の魅力・問題点の検証
5	10月22日	会津若松の「目指すべき将来像」の検討
6	11月12日	会津若松の「目指すべき将来像」の実現に向けたアクションプランの検討
7	1月14日	今後10年間のまちづくり協働に向けたスローガン検討

「あいづわかまつ若者会議」の開催

本市が目指すべき将来の姿などをテーマに、高校生や大学生などを対象としたワークショップを開催しています（委員14名）。



	高校生	短大生	大学生	合計
委員	6名	2名	6名	14名

回	月日	テーマ・内容等
1	8月2日	会議趣旨・全体スケジュール説明、委員紹介
2	10月4日	若者と女性に選ばれるまちについて考えてみる
3	12月20日	若者と女性に選ばれるまち「会津若松」の実現に向けた取組を考える

「子育て世代ワークショップ」の開催

子どもから高齢者まで誰もが幸せに暮らしていけるまちを築き、次の世代に引き続いていくことを目指し、子育てしやすいまちなどをテーマにワークショップを開催しています（委員13名）。



回	月日	テーマ・内容等
1	8月3日	会議趣旨・全体スケジュール説明、委員紹介
2	10月4日	子育てフェーズ別の悩み、問題意識を把握する
3	1月17日	会津若松での子育ての充実に向けた取組を考える

会津若松市総合計画審議会

条例に基づき、会津若松市総合計画審議会を設置し、市長から次期総合計画について諮問を行いました。今後、審議会において素案等を調査審議し、その結果を市長に答申する予定です。



第1回審議会（諮問）

条例上の種別	所属等	人数
市政に関心を持つ市民	・ 新たな総合計画策定市民会議 ・ 子育て世代ワークショップ	8名
各種団体の代表者	・ 会津若松市父母と教師の会連合会 ・ 会津若松商工会議所 ・ 社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会 ・ 特定非営利活動法人福島県防災士会（会津方部） ・ 会津若松市区長会	5名
学識経験者	・ 国立大学法人福島大学 ・ 公立大学法人会津大学短期大学部	2名
関係行政機関の職員	・ 福島県会津地方振興局	1名



ご清聴ありがとうございました。

